

## 再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：街路交通施設課  
担当課長名：渡邊 浩司

事業名：南港山東線（西浜3丁目～関戸1丁目）	事業区分：街路	事業主体：和歌山県																																
起終点：自：和歌山県和歌山市西浜3丁目 至：和歌山県和歌山市関戸1丁目	延長：0.92km																																	
事業概要：南港山東線は、和歌山市西浜地内を起点とし、同市吉礼地内の県道と和歌山橋本線交差点部を終点とする約8.0kmの都市計画道路である。当事業は、現道の混雑緩和や自転車・歩行者の安全で快適な通行空間の確保並びに国道42号や阪和自動車道から和歌山下津港や西浜工業団地のある臨港地域へのアクセス向上を目的とした延長0.92kmの街路事業である。																																		
H28年度事業化	S40年度都市計画決定 H28年度都市計画変更	H28年度用地着手 H30年度工事着手																																
全体事業費	約48億円	事業進捗率：4% 供用済延長：— km																																
計画交通量	15,600台/日～18,600台/日																																	
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">B/C</td> <td style="width: 15%;">(事業全体) 2.1</td> <td style="width: 15%;">(残事業) 4.4</td> <td style="width: 15%;">総費用</td> <td style="width: 15%;">(残事業)/(事業全体) 108/221億円</td> <td style="width: 15%;">(残事業)/(事業全体) 473/473億円</td> <td style="width: 15%;">基準年</td> <td style="width: 15%;">平成28年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費</td> <td>107/220億円</td> <td>走行時間短縮便益</td> <td>435/435億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>維持管理費</td> <td>0.89/0.89億円</td> <td>走行経費減少便益</td> <td>30/30億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少便益</td> <td>8.4/8.4億円</td> <td></td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 2.1	(残事業) 4.4	総費用	(残事業)/(事業全体) 108/221億円	(残事業)/(事業全体) 473/473億円	基準年	平成28年				事業費	107/220億円	走行時間短縮便益	435/435億円					維持管理費	0.89/0.89億円	走行経費減少便益	30/30億円							交通事故減少便益	8.4/8.4億円		
B/C	(事業全体) 2.1	(残事業) 4.4	総費用	(残事業)/(事業全体) 108/221億円	(残事業)/(事業全体) 473/473億円	基準年	平成28年																											
			事業費	107/220億円	走行時間短縮便益	435/435億円																												
			維持管理費	0.89/0.89億円	走行経費減少便益	30/30億円																												
					交通事故減少便益	8.4/8.4億円																												
感度分析の結果																																		
(事業全体) 交通量：B/C=1.8～2.2(交通量±10%)				(残事業) 交通量：B/C=5.8～7.1(交通量±10%)																														
事業費：B/C=2.1～2.2(事業費±10%)				事業費：B/C=6.2～7.7(事業費±10%)																														
事業期間：B/C=2.1～2.2(事業期間±20%)				事業期間：B/C=6.5～7.2(事業期間±20%)																														
事業の効果等																																		
<p>①第一次緊急輸送道路に指定されており、災害時における、より円滑な防災拠点への物資輸送や被災地への救援活動が可能となる。</p> <p>②両側に4.5mの自転車歩行者道を整備することにより、近隣学校への通学ルートとして利用する生徒の安全が確保される。</p> <p>③高速道路から和歌山市南部地域や西浜工業団地、和歌山下津港のある臨港地域へのアクセス向上による産業振興や観光客増加など地域の活性化が期待される。</p> <p>④現道の混雑緩和により、快適な走行空間が確保される。</p>																																		
関係する地方公共団体等の意見																																		
「第4次和歌山市長期総合計画・後期基本計画」(H26.3策定)の重点整備区間道路に位置づけられている重要な路線である。																																		
事業評価監視委員会の意見																																		
事業継続を妥当と認める。																																		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等																																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年4月1日に第二阪和国道が全線開通</li> <li>・平成29年3月18日に京奈和自動車道が阪和道に接続</li> <li>・平成30年度に阪和自動車道(仮称)和歌山南スマートICが供用予定</li> <li>・平成29年度から和歌山下津港のクルーズ船寄港促進事業に着手</li> </ul>																																		
事業の進捗状況、残事業の内容等																																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に事業化。</li> <li>・用地取得率4%、事業進捗率4%(平成29年3月末時点)</li> </ul>																																		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等																																		
平成33年度の完成を目標に用地補償及び工事の進捗を図る。																																		
施設の構造や工法の変更等																																		
現在実施中の道路詳細設計において再生材やプレキャスト製品の使用による建設コストの縮減を検討中																																		

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。